

建築士との「“本気”で語ろう会」 会議録

団体名	公益社団法人 鹿児島県建築士会 鹿屋・肝属支部
日 時	令和3年11月5日（金）18時30分から20時00分まで
場 所	鹿屋市役所3階庁議室
参加者	鑪周作、四元隆二、有元綾、伊野智宏、三宅真五、福満成一郎
	市長、田尻技監（建築住宅課）、川枝課長（同）、段主幹（同）、江口主査（同）的場課長補佐（政策推進課）、芝主幹（同）

【参加者の意見・要望等】

○リノベーションによる地域活性化

- 1) リナシティ鹿屋の活性化について
- 2) 中心市街地の活性化について
- 3) 空き家、空き店舗の活用について

- ・定住人口を少しでも増やすために鹿屋市独自の固定資産税減税対策はできないか。
- ・人口減少は避けられない問題として、人口減少後のまちづくりを考えていくことが今後の課題として取り組んでいった方がよいのではないか。
- ・空き家・店舗の対策として、リノベーションという考え方もあるが、費用は、新築もリノベーションもほとんど変わらない。空き家・店舗の活用に市でサポート（補助金）等の制度があれば、利活用が進むのではないか。
- ・市内施設のFree Wi-Fiの使える場所（施設）を増やしてほしい。また、利用できる時間をもう少し長くしてもらいたい。（現況18：00まで）
- ・Free Wi-Fiが使える場所が増えれば、リモートワークも増えて地域の活性化が図れるのではないか。
- ・鹿屋市は、食・資源（水）に恵まれた地域なので、そういったものを発信していくことが活性化につながる可能性があると思う。また、来られた方への丁寧なガイダンス（説明・案内）が大事で、気に入ってもらえれば、定住につながる可能性もあると思う。
- ・各方面からの鹿屋の窓口として「リナシティかのや」が中心となっているが、着いてからの観光・各地域（輝北・吾平・串良）拠点施設への交通手段がもう少し充実すれば交流人口の活性化が図れるのではないか。
- ・1階の空き店舗が目立っているので、リナシティかのやの店舗賃料を下げれば利用率が上がるのではないか。
- ・中心市街地は、夜の店舗は充実しているが昼間に利用できる店舗（飲食店）が少ない。また、無料駐車場も少ないことから、昼間の駐車場を無料にすれば、飲食店舗として、空き家店舗の活用も考えられ、活性化につながるのではないか。
- ・リナシティかのや内にフリースペース（時間貸し）があれば、利用率が上がるのではないか。

- ・まちづくりに民間の専門家を入れて進める、具体的には、計画的な農地除外をしていくことで良好なまちづくりにつながっていくのではないかと思います。
- ・寿地区の農研センターを含む一帯が第1種低層住居専用地域となって用途が制限されてしまっている。用途地域を見直して官民一体となった施設（蔦屋図書館、スターボックスのような施設が入ったもの）を整備すれば、まちの活性化が図れるのではないかと。

【市長】

- ・200㎡以上の土地の減税措置があるが、税は国の制度なので市独自で出来るかは、調査が必要となる。コンパクトシティを目指すうえで、中心地に住宅を誘導するために固定資産税や建ぺい・容積率の緩和等について今後、調査・研究を進めていかなければならない。
- ・2060年に9万人の人口維持を目標に、コンパクトなまちを形成して、効率的な投資を行って長寿命化を図り、現状のインフラの維持していきたい。
- ・中心市街地も昔からの店舗（菓子店、電気店など）が今も頑張っていて営業をされている。空き店舗活用に補助金等をとといった考え方もあるが、補助金もたくさんは出せないもので、効果はあまり期待できない。
- ・リナシティかのやに現在8箇所Free Wi-Fiがあり、出力を上げるよう考えている。学校でもタブレット配布がされて、家に持ち帰って使用されるところもあるが、自宅にWi-Fi環境のない等の問題もあり、学習センターなどのWi-Fi環境整備も考えていかなければならない。
- ・昨年、移住定住センターを設置して相談員を配置しており、その相談員を気にいって移住を決めたという方もいた。
新たにものを作るのではなく、今あるもの「資源（里山、自然、食）」を生かした取り組みを進めていきたい。
鹿児島女子短期大学と高隈コミュニティ協議会が県内で初めて地域連携協定を結ぶ取り組みもされている。
- ・くるりんバスや乗合タクシー（天神・船間地区等）といったワンコインで病院等、行ける取り組みを実施しているが利用率はよくない。民間の運行しているバスもあり、効率的な運行経路の設定が難しい。今後、高齢化が進んでいけば大きな問題となってくることが考えられるので、今のうちから考えていかなければならない。
- ・海の玄関口である志布志港に物は入ってくるが、出すものが少ない。今後、大隅半島全体で出していくもの（運送費用に見合った付加価値の高いもの）を考えて作っていかないといけない。
- ・リナシティかのやの1階空き店舗については、民間所有の施設であることは、あまり知られていないようで、民間施設に対する市の対策は難しい。
- ・店舗が並んで味比べが出来るイベントが開催されてにぎわっているようなので、常時そういった店舗が出来れば全体的な活性化に期待できると思う。

- ・現状のスペースからすると立体駐車場とかでないと難しい。ただ立体駐車場とするには、それなりの収益がある施設でないといけない。
- ・危険空き家解体補助は、今までに300件、支え愛ファミリー住宅改修応援補助が約1,000件の実績があり、かなりの経済効果がでている。
- ・コンパクトシティを進めるうえで、建物を作っていいところと制限する（作ってはいけない）ところを全体的に考えていかないといけない。
- ・土地対策要綱で排水計画や道路隅切りなど基準を設けていて、現状がうまくいってるとは思わないが、今後、こういった形がよりよいまちづくりにつながっていくか考えていかないといけない。